

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスPocket			
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日 ～ 令和7年9月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日 ～ 令和7年9月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的療育の充実	ミーティングにおける専門的な支援の内容を共有し、どのスタッフが関わっても療育の質が高いサービス提供となるようにしている。	専門性（知識・技術）を高めていけるよう研修の内容を適宜修正していき、さらに専門性の高いスタッフを雇用することで全体的な質の向上を目指していきたい。
2	体験的な活動を多く取り入れている	社会経験の少ない児童においても、様々な活動を通して成功体験を積み上げていけるように工夫している。	所外活動での体験だけでなく、室内活動をさらに充実したもののできるよう企画・実施していく。
3	集団活動を通した周りとのコミュニケーションの獲得	友達との関わりの中で社会性の向上を目指していけるよう、スタッフが間に入りながら円滑なコミュニケーションを促している。	子どもたち自身がコミュニケーションの中で適切・不適切の区別が分かりやすいような支援をしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別に対応が必要な児童に対する支援者の連携	リーダーとなるスタッフやその時のスタッフが曜日によって変わるため、個別の対応が必要な児童に対するスタッフの固定化やイレギュラーの対応連携に課題があるように考える。	事前の確認作業として、個別の対応やイレギュラー対応をどのスタッフで行っていくか明確に協議していく。また、どのスタッフでも対応が取れるよう情報共有は密に行っていく。
2	休業日等での活動内容の発案	これまでも様々なアイデアを出して活動計画を作ってきたが、所外活動の新規開拓という所では難しくなっている。	新しいアイデアを各スタッフが出し合い色んな体験につなげていけるように工夫していきたい。また、今まで行った活動もアレンジを加えていきながらより充実した内容での提供となるようにしていく。
3			